

平成25年10月16日
四国地方整備局

四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成25年度第2回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成25年4月から平成25年6月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成25年10月 1日(火)
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 三枝茂樹(内線2114)

契約管理官 今城敏雅(内線2222)

技術開発調整官 近藤秀樹(内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年10月1日(火) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) 委員 柴田 潤子(香川大学大学院教授) 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) 委員 白井 一郎(弁護士)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成25年4月1日～平成25年6月30日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 橋川改良工事	中山興業(株)	133,665	7	87.94
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 北井門舗装(その2)工事	日本道路(株)	159,600	4	86.52
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 日和佐出張所管内トンネル補修外工事	ショーボンド建設(株)	109,410	1	86.71
建設コンサルタント業務等	一般競争	平成25-26年度 土佐高知等管理工事監督支援業務	(一社)四国クリエイト協会	105,724	2	76.67
	簡易公募型競争	平成25年度 肱川下流右岸堤防設計業務	(株)荒谷建設コンサルタント	24,150	3	78.90
役務及び物品	一般競争	平成25年度 吉野川ダム統合管理事務所車両管理業務	日本道路興運(株)	15,120	4	66.08
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況 ④事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 橋川改良工事</p> <p>A社は、総合評価落札方式における加算点のうち、配置予定技術者評価の「同種類似工事の施工経験」及び「工事成績」が0点になっているのに、入札参加資格確認表の「配置予定技術者の資格、施工経験がある」が「○」になっており矛盾はないか。</p>	<p>A社の配置予定技術者の実績が、小規模であったため加点評価していないが、参加要件については満足している。</p>
<p>平成25年度 北井門舗装(その2)工事</p> <p>調査基準価格を下回った業者のすべてが、追加資料の提出を辞退しているが、辞退理由についての分析は行っているのか。</p>	<p>低入札になると、入札説明書に記載のとおり、施工体制確認のための詳細な資料を作成・提出し、かつヒアリングに協力しなければならないため、辞退を選択したものと考えている。</p>
<p>愛媛県内に本社があるアスファルト舗装工事A等級の業者は何社あるのか。また、四国内に本社があつて、入札に参加可能な業者は何社あるのか。</p>	<p>愛媛県内に本社を置くアスファルト舗装工事A等級の業者は無い。また、四国内に本社があつて入札に参加可能な業者は1社である。</p>
<p>今回の工事の等級区分をA等級とした理由は。</p>	<p>施工規模、工期等からA等級としたものである。</p>
<p>平成25年度 日和佐出張所管内トンネル補修外工事</p> <p>入札に参加した業者が2社しかなく、その内の1社が辞退しているがどういう理由か。</p>	<p>業者が辞退した理由は確認していない。ただ、今年度の傾向として、24年度末の大型補正により工事の発注が多く技術者が不足していること、トンネル補修は技術的ノウハウが必要なこと、工事対象箇所が点在しており経費がかさむこと、現道上での交通規制を伴うことにより手間がかかることなどにより入札に参加する工事を選別しているのではないか。</p>

<p>トンネルの補修工事に法面の防災対策工事を加えた理由は何か。</p> <p>1社入札の場合は入札不調とはならないのか。</p> <p>入札時提出内訳書の一般管理費の金額が、業者の金額と官積算で大きく違うが。</p> <p>トンネル補修工事は、入札時に損傷箇所が分かった上で入札しているのか。 また、契約後に新たな補修箇所が発見された場合はどうするのか。</p> <p>この工事以外でも、維持補修工事の入札参加者が少ない理由は何か。 また、今後入札参加者を増やす工夫はあるのか。</p>	<p>本工事の防災対策工事は小規模であり、単独で施工するよりも近傍工事と併せて施工した方が効率的であるため。</p> <p>一般競争入札の場合は、1社入札でも成立する。</p> <p>一般管理費が企業の受注意欲と努力が現れる部分であると考えている。</p> <p>あらかじめトンネル点検を実施し、その結果を基に補修設計を行った上で工事の発注を行っている。なお、新たに補修が必要な箇所が発見された場合は、契約変更等に対応することとなる。</p> <p>施工場所が点在していて経費がかさむこと、工事に対するノウハウ及び地元状況の把握等が必要であることなどから、入札に参加する工事を選別しているのではないかと考えている。全国的にも同じ傾向があり、今後の対応について議論しているところである。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回答
<p>平成25-26年度 土佐高知等管理工事監督支援業務</p> <p>この業務は、技術提案で差がついているが、的確性と実現性についてどの様な評価をしているのか。</p> <p>A社の管理技術者の同種実績が満点になっているが、支援業務の実績があれば監督業務の実績が無くてもかまわないのか。</p> <p>2社とも近い金額の入札であり、また調査基準価格に近似した金額であるが、調査基準価格はどうやって決めているのか。また、調査基準価格は推測できる仕組みになっているのか。</p> <p>B社の受注件数が多いが、理由はあるのか。</p>	<p>的確性は、評価テーマを履行するにあたってどういった点がポイントになるのかという点。実現性は、そのポイントになったところについてどの様な解決方法が示されているかという点を評価した。</p> <p>監督業務の実績が無くても、入札公告及び入札説明書に記載された同種及び類似の実績があればよい。</p> <p>積算する単価については、公表されているものもあり、業者はある程度把握できる。低入札価格調査基準についても考え方が公表されているので、調査基準価格の算定方法は業者でも概ね把握できる。</p> <p>B社は発注者支援業務を数多く受注してきた会社である。現在は市場化テストにより、他の会社も受注できるように、参加要件である同種・類似実績の緩和を図っている。</p>

(3)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 肱川下流右岸堤防設計業務</p> <p>参加可能業者が59社ありながら、4社しか入札に参加しなかった理由は何か。</p>	<p>今年は、かなりの数の業務の発注が全国的に予定されているので、配置予定技術者の手持ち業務量の制限を考えた結果なのではないかと考えている。</p>
(4)一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 吉野川ダム統合管理事務所車両管理業務</p> <p>業者のコストは人件費だけか。また、落札率が低いと人件費に影響するのではないか。</p> <p>車両管理業務は、四国の全事務所でやっているのか。また、落札率の状況はどうなっているのか。</p>	<p>この契約には、人件費、ガソリン代、オイル代、保険等が入っているが、人件費を含め、適正に執行されると考えている。</p> <p>車両管理業務は全事務所で発注しており、平成25年度の実績で、平均落札率は62.2%である。</p>

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回答
<p>談合情報のあった工事について、談合の疑いが確認できなかったため入札契約手続きを再開したが、結果的に談合情報と一致する結果となったが検証はしているのか。</p> <p>事情聴取で不自然なことがなければ、入札契約手続きは継続されるのか。</p>	<p>入札に参加していた業者が、他の工事を落札したことで配置予定技術者が重複したことにより辞退したため、結果として情報内容と一部一致することになったが、問題ないと判断した。</p> <p>工事費内訳書等を細かく確認し、疑義があれば質問や調査を行った上で、談合の疑いが払拭できた場合は入札契約手続きを再開する。</p>

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
特になし	

5. 事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について

意見・質問	回答
特になし	

6. 全体について及びまとめ

業種によっては困難であることは理解するが、複数の企業が参加いただけるように、引き続き努力されたい。
